

2019・小学校高学年「もうひとつの屋久島から：世界遺産の森が伝えたいこと」

□私は屋久島のことを 少し知っています / テレビで見たことがあります / とても興味がありました。

できれば、詳しく調べたい / 一度行ってみたい / 本物を見てみたい / あまりきょうみはない と思っていました。

□もしそこが日本の屋久島だと知らされずに上空から見たら、

だと思いました。 / と感じました。

□屋久島の森は私の知っている森と違って

なところがとてもおどろきました / ふしぎだなと思いました。

□屋久島には、(ヤクシカ、ヤクシマサル、ヤクシマミドリシジミ、ヤクシマダケ、ヤクシマリンドウ)など

「ヤク」「ヤクシマ」と名前につく、屋久島にしかない動物や植物がたくさんいます。

それを知って私は、

だと思いました。 / と感じました。

□1993年にユネスコ世界自然遺産になった屋久島は昔から自然豊かな島ではありませんでした。

「屋久島を守る会」の人たち / 島の人たちが、国を相手に原生林ばっさいの反対運動をして守った自然 / 島です。

そうすることで、屋久島を日本初のユネスコ世界自然遺産にすることができました。私は

だと思いました。 / と感じました。

□屋久島は昔から林業で生活する人の多く、伐採は1980年代まで続いていました。私は、どうしてこんなに

すごい森林を切ってしまうのか 信じられない / 悲しい / さみしい / どうしようもない 気持ちになりました。

私なら

だと思いました。 / と感じました。

□もっとはやく、屋久島の自然を大切にしていたら、

きっと、

だった かもしれません。 / のではないかと思いました。

なぜなら、

だからです。

□この本を読んで屋久島の世界自然遺産の太古の森は、勇気をもって「まちがっている」と声を上げた人たちに

よって守られてきたことを知りました。今の屋久島があるのは

のではないかと思いました。

□屋久島がユネスコ世界自然遺産になることで、観光客がきて島の人々の生活が豊かになるけど、私は

だと思えるようになりました / 考えるようになりました。

これからも、

ほしい と思いました。